

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

ロジスクエア 京田辺 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.8
Q1 室内環境						
1 音環境		-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル	-	-	-	-	-	-
1.2 遮音	-	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能	-	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能	-	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音	-	-	-	-	-	-
2 温熱環境		-	-	-	-	-
2.1 室温制御	-	-	-	-	-	-
1 室温	-	-	-	-	-	-
2 外皮性能	-	-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	-	-	-	-	-	-
2.3 空調方式	-	-	-	-	-	-
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用	-	-	-	-	-	-
1 昼光率	-	-	-	-	-	-
2 方位別開口	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	-	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策	-	-	-	-	-	-
1 昼光制御	-	-	-	-	-	-
3.3 照度	-	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	-	-	-	-	-	-
4 空気質環境		-	-	-	-	-
4.1 発生源対策	-	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質	-	-	-	-	-	-
4.2 換気	-	-	-	-	-	-
1 換気量	-	-	-	-	-	-
2 自然換気性能	-	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	-	-	-	-	-	-
4.3 運用管理	-	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-	3.9
1 機能性		-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ	-	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	-	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性	-	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観	-	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-	-
3 内装計画	-	-	-	-	-	-
1.3 維持管理	-	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性		3.4	0.50	-	-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振	-	3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数	-	4.1	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.22	-	-	-
2 外壁仕上材の補修必要間隔	金属サイディング	5.0	0.22	-	-	-
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	-	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	外部露出ダクトなし、多湿部ガルバリウムダクト。	5.0	0.11	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	雑排水管:VP、汚水排水管:VP、通気管:VP	5.0	0.22	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.22	-	-	-
2.4 信頼性	-	3.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用、系統の分離、受水槽への蛇口の設置。	4.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA。	4.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	通信の多様化、重要機器の浸水レベルへの設置無し、テレビ共聴	4.0	0.20	-	-	-

3	対応性・更新性		4.5	0.50	-	-	4.5
3.1	空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.90m以上。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	[壁長さ比率]<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2	荷重のゆとり	床荷重:4500N/m ² 以上	5.0	0.30	-	-	
3.3	設備の更新性		3.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	天井スペースの確保により構造部材・仕上材を痛めることなく更新・修繕が出来る。	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕、更新できる。	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造体を傷めない計画としている。	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	構造体を傷めない計画としており、予備スリーブを計画している。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	3.8
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	植栽により、良好な景観を形成している。	5.0	0.40	-	-	5.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	メッシュフェンス、ITV設備の設置。	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	中高木の設置、屋上庭園等	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	4.0
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.6
1	建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用	カーテンウォール等	4.0	0.13	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化	BEIm=0.54	5.0	0.63	-	-	5.0
4	効率的運用		4.0	0.25	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価		4.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	中央監視設備の設置	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	運用管理体制の作成、エネルギー消費量目標値の計画	4.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.8
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型推奨に加えて、節水型便器を用いている。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	-	3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:タイルカーペット・ビニル系床材、路盤材:再生クラッシャーラン	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGSとOAフロアを使用している。	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.9	0.20	-	-	3.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が4つ以上ある。	5.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮	LCCO ₂ 排出率82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	敷地内に駐車場、駐輪場、トラックバースを確保。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

ロジスクエア京田辺A新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	3.0	3.0	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	3.0	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0	-	2.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	5.0	-	2.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	4.0	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	-	1.0	-	-	3.0	-	-	-	3.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -

U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -

住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -

昼光率 0.0%

自然換気有効開口面積率 0.0%

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース .0㎡ /人 病床 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観

天井高 0 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 25 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 40 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 7.3 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 2.5%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 15000 N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 17% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 37% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 1% 舗装面積率 0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m - 断熱等性能等級 等級2 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.54 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kWh

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 タイルカーペット、ビニルエコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 3

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 105% 隣接間隔指標R_w 3.88

地表面対策面積率 1.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%

見付面積S_b 7,470㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s 322.98 m 基準高さH_b 22.08 m

緑地 2,244㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡